

## 2006年度ケニアハンドウ中学校報告



里子支援 30名の里子を支援しました。  
教科書支援 4年生のための教科書を支援しました。



教科書贈呈式



食堂での食事風景



図書閲覧室での様子



PTAが発電機を購入しました。



## ケニア マラクシ・ハンドゥ中学校 報告



校長室にて支援金を贈呈



生徒に教科書を贈呈 【贈呈式の模様】



教科書贈呈



待ち望んだ給食のかまどが完成



理科実験道具贈呈（まだまだ少ない状態）





## マラクシ中学校校長 教科書管理運営システムについてのレポート

教科書を寄贈してくださり、心より感謝申し上げます。教師、学生、共に学業の目的を達成するため大変役に立ちます。

### 1. 本の保管状況

本は最初に使用した生徒達が、特に授業で使う教科書はナイロンでカバーをつけました。図書室の本は科目ごとに棚に整理されて、取り出しやすくなっています。

### 2. 本の流れ/運営

本はタイプやカテゴリーで、必要に応じて割り当てています。またその量についても対応できています。「参考」と記載があるカテゴリーの本は主に図書館内で使います。貸し出しは最大で12時間です。

その他の本は最長で2日間借りられ、2冊以上同時の貸出は禁止です。そして皆が本を利用しやすく円滑に循環させています。

授業で使われる教科書は学期ごとに学生に配布され、特に担当教師と共に数学、英語、スワヒリ語の授業で役立っています。

### 3. 貸出期間と管理

貸出時間は平日午後4時から5時の間ですが、本が授業で必要な時はその前でも、時には週末でも必要な時に許可されます。通常図書室の監督下で完璧に行われています。貸出した本のカードが入っている名前のある封筒をみれば、どの学生が何冊何の本を持っているかがわかるようになっています。

### 4. 罰則

紛失を防ぐため、本を戻せば別ですが、紛失者は図書サービスを受けられません。また本は貴重なので、それ相当の額を給料、学費などから差し引くこととなります。長い間本を借りたままにしておく、都合の悪い罰則を課せられることとなります。これで本の紛失を非常に少なくしています。

### 5. 提案/将来計画

図書室を長時間開ける利便性を図り、より効率的な運営のために、司書が一人、もうすぐ雇われるでしょう。

もっと多くの本が保管できるように、もっと多くの書棚を作ります。

ビデオとテレビがあれば、視聴覚教育部門はテーマに関するクラブを特にアシストできるでしょう。

図表や適切な資料の整った立派な閲覧室の座席を、拡大するため家具をもっと作ります。

# 食堂キッチン使用についてのレポート

## 前文

食堂キッチンは皆様が学校にくださった重要な建物です。学校の様々な目的に利用されています。

### 1. 貯蔵庫と保健室

キッチンの拡張は長期間消費される砂糖、塩、食用油なども置いておくのに有効に使われています。貯蔵庫はキッチンに隣接しているので、食材をたやすく移動させ安全に使えます。

寮母のいる場所では、窓を通して学生に薬をあげられるようになっていました。しかし貯蔵庫からは少し遠いので、食料には影響がありません。そしてそこは特に寮生の食事と仕出しの食材在庫品明細も記載するところです。

### 2. 売店(購買部)

部屋の一つが教師の厚生組織で運営される購買部になりました。教師や学生の最低限の必需品を売っています。それは学生達が自立して、学校内で維持していくためにもかなり重要です。彼らが容易に目の届くところにおいておけるので、規律を保つためにも効果があります。

### 3. ホール施設

ホールはたくさんの座席があるので、成績発表、終業式、礼拝また娯楽のため皆が集うのに使われます。

### 4. 将来の計画

- A) もっとテーブル椅子等を作り、食事が一緒にできるようにします。
- B) ホールは、室内ゲームその他の活動や討論会などをするのに大変良い環境です。テーブルが作られれば、卓球やダーツなどもゲーム娯楽としてカリキュラムの中で紹介できます。

## 寄宿舎についての報告

ハンドウ中学校は寮生と通学生から成り立ち、男子女子寮とがあり寮生は食事付きです。

### 1. 女子寮

女子寮はひとつの建物を二つに部屋に分け、各々を「韓国」「日本」とスポンサーの国の名前をつけています。各部屋は定員25名ですが、現在31名で混雑しています。寮には貯水槽があり、シャワー施設も十分あります。

### 2. 男子寮

男子寮は、ちょうど7月初めに新しいところへ移動して住むようになりました。二部屋あり、60名収容可能ですが、一部屋のみ完成し男子寮生を収容しています。男子寮にはトイレがないので、通学生用を使用しています。まだ不便ですが、願わくは年末前までにはきちんと整うことを期待しています。

### 3. 他の施設

寮母室は、特に救急処置や病院に運ぶまでの手当をする保健室としても機能しています。娯楽は週末にラジオ、TVまたは討論という形で提供されています。

### 4. 規律

前年度と比べ、さらに高い基準の規律がいろいろな方面で達成されました。

#### 校内居住の男子達

男子寮生達は、以前は校外にあるアパートを借りて住んでいましたので、監視することが難しかったですが、寮に今学期から入ったことで指導し易くなりました。

#### ルールや決まりの厳守

学生達により責任感を植え付けることになりました。ルール違反をすると、結果がどうなるか明確にされます。これにより、校内に警備員の出勤や望まない新聞記事の書き込みを減らし、時間や毎日の学校生活をより注意してみるようにさせています。

#### 対話

教師、学生間のより良い理解の場です。問題が起こる前に解決する道を示してくれる場でもあります。

#### 娯楽とレーションのためのより良くより多くの施設

ボールやラケットでのスポーツ、新聞雑誌を余暇に読み、娯楽にラジオやテレビを見て楽しむことを含みます。彼らをリラックスさせ、有り余っているエネルギーを悪い方向に使うことを防ぐために役立ちます。

### 5. まとめと提案

特に規律においては達成されましたが、もっと変えることでさらに良くなります。そこで提案です。

- I. もっと多くの教師達が校内にいるべきです。従って職員の家が必要です。そうすれば、学生達を学業面、他にも放課後の時間も指導できます。
- II. 男子寮のもう片方の部屋が完成すれば、男子にも女子にももっと良い勉強



の機会が与えられることになるでしょう。

- III. 保健室にもっと色々な薬があれば、病院に行ったり待ち時間を取られなくて済むようになります。またそうできれば学生達は無理をして移動せず安静にすることができます。

## 学校の評価

大方の保護者や地域の人々は、PTA会議での考えに賛同的です。そして期日内に授業料を払っています。また現金ではなく品物で納める場合もあります。彼らは学校の日々の仕事についても心配してくれます。これまで地域は、男子寮建設を援助してくれて、現在最後の完成段階にあります。そして男子の規律や安全面が改善してきました。

## 里子たち

里子たちは各クラスでトップに位置していて、大変がんばっています。やる気が大変あり優秀な成績をとりたいと思っています。学校は成績を競争させるプログラムを行い、それで学生達が真剣に読書に励むようになりました。

読書する文化が学校にできました。

我校の使命は「自立するための良質な教育の提供」です。私達は向上することに努力しています。

## 教師とその他の職員

学校の入学者数は大きく増えました。学生達は大変熱心です。競技への参加、クラブ活動、さらには献血のような地域活動にも熱心です。その結果、職員の姿勢も良くなりました。

文部科学省は、新しい英語教師ウエクケ女史を送ってきました。8月には物理化学担当の教師を迎えることになっています。彼らは大変勤勉で最善を願っています。

私達は学校が更にレベルアップすることを確信しています。教師も生徒も保護者たちもベストであることだけを目指しています。中国の格言に「千里の道も一歩から始まる」とあるように、私達は第一歩を踏み出しました。

皆様が更にご尽力されまして、ますますの御繁栄とご健勝をお祈り申し上げます。

神様の祝福が豊かでありますように。

敬具

マーチン・W. ワスワ

## マラクシ中学校支援及び、その周辺の報告

- 2006年度、教師数15名、職員9名、生徒数310名(男170名、女140名)、卒業生は71名でした。1998年開校以来、総計1785名が学んでおります。
- 2005年度の卒業生のうち、3名が国立大学試験に合格しました。私立大学試験には11名が、短大試験には、38名が合格しました。
- 7月22日、ケニア視察を行いました。  
今回も昨年同様に教科書を贈呈し、最高学年用の教科書が不足していたため、大変喜ばれました。贈呈冊数は、547冊でした。
- 30名の里子に、支援金を渡すことができました。彼らは将来、医者、弁護士、パイロット、教師、代議士などになりたいという、大きな夢を持ちながら学んでいます。
- 別紙の、ワスワ学校長からのマラクシ中学校図書管理システムを中心とする、校内状況報告書をご覧ください。
- 昨年年末、校長とPTA会長の地道な努力により、中学校の父兄、及び地域住民を中心として資金を集めて新しい発電機を購入することができました。第1号の発電機は、ヤギが壊してしまっていて、蛍光灯はあっても長らく電気がつかない状態にあったのです。(蛍光灯は、化学実験室しか取り付けてありませんでした。)

今では、勉強する時間が増え、長時間読書に励むことができるようになりました。

- このマラクシ村は、かつてナイロビのスラムの住民のために、政府が土地を提供して開いた地域であり、極貧階級の人々が多く住んでいます。しかし現在では、この中学校は、日本からの支援に頼るだけでなく、地域の希望のともしびの場所として住民達が率先して作り上げていこうという、雰囲気はPTAを中心としてなされています。

ケニア女性連合主催のエイズ撲滅推進セミナーを行いました。

ボメット地区を中心として、活発にセミナーをして村上げてのエイズ撲滅運動を展開しました。